

令和5年度事業計画について

事業運営方針

熊本県は、人口が1,717,766人、高齢化率が32.1%（いずれも熊本県推計人口調査（令和4年10月1日現在））で、全国より早く人口減少、高齢化が進行している。このような中、県では、令和3年3月に「新しいくまもと創造に向けた基本方針」（令和3年度～5年度）を策定し、熊本地震、新型コロナウイルス感染症、令和2年豪雨災害といった喫緊の課題に立ち向かうとともに、SDGsなどの新しい時代の流れを取り入れ、「豊かで活力に満ちた熊本」の実現に向けて取り組んでいる。

基本方針の中では、高齢者に係る取組みとして、安全安心な社会の実現に向け、子供や高齢者、障がい者等が自分らしく安心して住み慣れた地域で暮らせる社会の実現を目指し、健康寿命の延伸に向けた取組みや医療提供体制の確保、就労支援を行うとともに、地域での見守りや交通事故の抑止、地域の公共交通手段の確保等に取り組む、安全・安心な地域づくりを推進するとされている。

また、令和3年3月に策定された第8期熊本県高齢者福祉計画・介護保険事業支援計画（長寿・安心・くまもとプラン）においても、「高齢者が健やかに暮らし、いきいきと活躍できる“長寿で輝く”くまもと」づくりを目指し、すべての高齢者が、暮らしたいと思う地域・場所で、快適かつ安心・安全に、生きがいと社会参加の機会を持ちながら、自立して長寿を全うすることのできる熊本を目指すこととされている。

当財団には、こうした状況を踏まえ、「“長寿で輝く”くまもと」を目指し、活力ある長寿社会づくりの一翼を担うことが期待されており、国や県と協調した施策展開、市町村、社会福祉協議会、老人クラブ、各種団体・企業等と連携した事業等の実施に努めるとともに、簡素で効率的な運営に留意しながら、引き続き次の事業に取り組むものとする。

一方、当財団は、平成25年度に一般財団法人に移行以来、厳しい財政状況の中、事業遂行に努めてきたが、これまで財源不足を補完してきたねんりんピック基金が令和5年度に底をつき、令和6年度以降は大幅な財源不足が見込まれている。そこで、基本財産の活用も含め事業の抜本的改革を図るとともに、収支状況の改善に努め、一般財団法人移行時からの方針である公益財団法人への移行を目指すこととしたい。

1 高齢者の積極的な社会参加を支援するための生きがい・健康づくり事業

2 高齢者への就労支援事業

事業実施計画

1 高齢者の積極的な社会参加を支援するための生きがい・健康づくり事業

(1) 広報事業 3,845千円

高齢者の生きがいと健康づくりに役立てるための情報を提供することにより、高齢期を元気に生き抜き、明るい長寿社会づくりに寄与する。

① 情報誌「さわやか」の発行（春・夏年2回） (2,917千円)

健康・保健・福祉等に関する情報はもとより、高齢者の社会参加・貢献や仲間づくりに関する記事を掲載した情報誌を発行し、企業、市町村、市町村社協、老人クラブ、病院、公民館、図書館等に幅広く配布する。

② 財団事業紹介等のホームページの運営 (62千円)

当財団の各種情報発信、シルバースポーツ交流大会をはじめ各種イベントの参加者募集等を行うなど、ホームページにより適時的確な情報を提供する。また、フェイスブックなどにより、財団と利用者あるいは利用者相互の交流の場を提供する。

③ さわやかパートナーシップ講演会の開催 (866千円)

熊本さわやか大学卒業生の地域における主体的な各種活動の活性化及びさわやか大学の広報のため、各校卒業生会とのパートナーシップのもと、生きがいや健康づくりのための講演会を開催する。

(2) 人材育成事業 9,573千円

高齢者が地域の活力維持の担い手としてその役割を果たせるよう、学習、活動の機会を提供するとともに、高齢者の持つ豊かな知識と社会経験を活用し、その活動の支援を図る。

① 学習機会の提供 (9,415千円)

高齢者が豊かで元気に過ごすための学習機会を提供することにより、高齢社会をリードする人材の育成を図る。

ア 熊本さわやか大学の開校 (9,275千円)

熊本さわやか大学を開校して高齢者の生きがい・健康づくりと仲間づくり、更には社会参加の促進を図るとともに、高齢社会を活性化させるリーダーを育成する。

なお、引き続き新型コロナウイルス感染防止のため、昨年度と同程度の募集定員とし、感染防止対策を徹底して開講する。

期間 令和5年4月～令和6年3月

	場 所	定 員	実施日	講座数
熊本校	熊本県総合福祉センター	70名	毎週木曜日	40講座
八代校	桜十字ホールやつしろ	45名	毎週火曜日	40講座

イ 出前講座の開催(人吉校、天草校) (140千円)

遠隔地の高齢者を対象に熊本さわやか大学校の講師を派遣して実施。高齢者の生きがい・健康づくり、並びに社会参加の意識を高めてもらうため、毎年数地域で開催する。

② 高齢者の人材活用、活動支援 (158千円)

高齢者が長年にわたって培ってきた知識や経験を活用するとともに、その活動を支援する。

ア 「熊本さわやか知恵袋」登録者の活用

長年にわたって培ってきた知識や技能を有する高齢者を登録し、地域や団体などの利用者からの依頼に基づき登録者を派遣する。

<登録者の分野>

伝承遊び、スポーツ、文化など

イ さわやかシニアくらぶ活動の支援

各種企業から推薦された退職者及び熊本さわやか大学校卒業生で組織する運営委員会(さわやかシニアくらぶ)が、高齢者の社会参加を目的として行うイベント(小旅行等)の企画を支援する。

(3) スポーツ・文化振興事業 24,076千円

各種のスポーツ・文化活動を通して高齢者の健康保持と交流機会の拡大を図ることにより、新しい仲間づくりや積極的な社会参加を促し、元気に暮らせる地域社会づくりに資する。

① シルバースポーツ交流大会の開催 (6,839千円)

- ・期間 令和5年5月10日(水)～5月21日(日)
- ・会場 熊本県民総合運動公園ほか8会場
- ・種目 18種目
 ラージボール卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、健康マラソン、グラウンド・ゴルフ、ソフトバレーボール、ゴルフ、サッカー、弓道、剣道、太極拳、ダンススポーツ、バウンドテニス、スポーツウェルネス吹矢、バドミントン

② シルバー囲碁・将棋大会の開催 (634千円)

新型コロナウイルス感染症感染防止のため、2日間に分けて開催する。

- ・期日 囲碁 令和5年6月3日(土)、将棋 6月4日(日)
- ・会場 熊本県総合福祉センター

③ シルバー作品展の開催 (3,069千円)

- ・期間 令和5年8月29日(火)～9月3日(日)
- ・会場 熊本県立美術館 分館
- ・部門 6部門(日本画、洋画、写真、書、彫刻、工芸)

④ 第35回全国健康福祉祭えひめ大会(ねんりんピック愛顔のえひめ2023)

への選手派遣及び作品の出品 (13,534千円)

ねんりんピック愛顔のえひめ 2023 にスポーツ等選手団を派遣するとともに、作品を出展し、他県の高齢者等との交流を図る。

- ・開催地 愛媛県内11市9町
- ・期間 令和5年10月28日(土)～10月31日(火)
- ・派遣選手 150名程度(スポーツ及び囲碁・将棋の21競技)
- ・美術展出品 日本画等の6部門の優秀作品各2点を出品

2 高齢者への就労支援事業

(1) 熊本高齢者無料職業紹介所の運営 17,985千円

概ね60歳以上の高齢者の就労の機会を拡大し、その知識や経験を社会に役立たせるとともに、生活の安定と生きがいを得られるよう、県総合福祉センター内及び県内10か所の県地域振興局内に熊本高齢者無料職業紹介所(相談所)を設置し、ハローワークその他の就労支援機関と連携をとりながら職業紹介及び職場開拓を行う。

特に、令和3年4月から当財団が事務局を担当している熊本県生涯現役促進地域連携協議会と緊密に連携しながら、総合相談からマッチングまで隙間なく支援していく。

なお、熊本高齢者無料職業紹介所が高齢者にとって親しみの持てる場所となるよう、令和5年4月から各相談所を「シニアジョブサポくまもと」(「くまもと」の部分は各地域振興局の呼び名に置き換える)と愛称で呼ぶこととする。